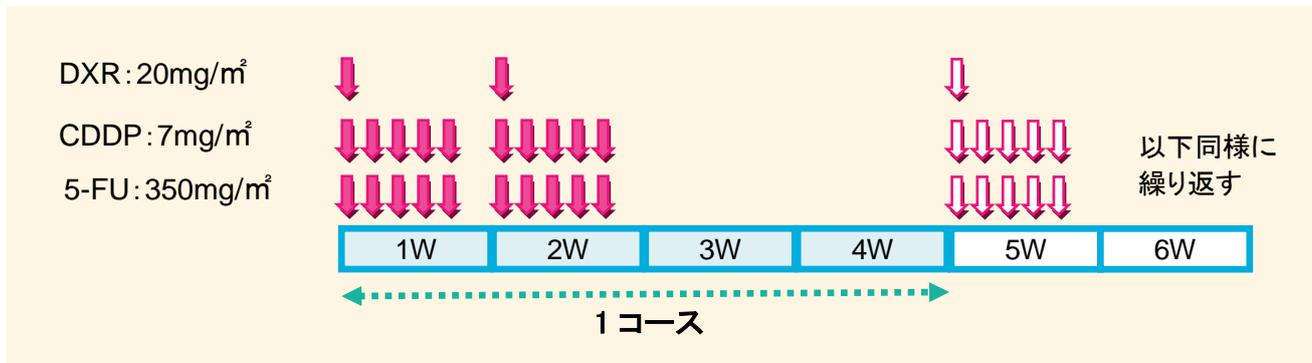


【0604】low dose FAP 療法

【投与スケジュール】1 コース=28 日



【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	28	
①	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1本	30分	↓												休業完了	
	デカドロン 3.3mg	3A															
②	アドリアシン	20mg/m ²	全開で	↓													
	生理食塩液 50mL	1本															
③	シスプラチン	7mg/m ²	1時間	↓													
	生理食塩液 100mL	1本															
④	フルオロウラシル	350mg/m ²	24時間	↓													
	生理食塩液 500mL	1本															
滴下順	薬品名	用量	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
①	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1本	30分		↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓		
	デカドロン 3.3mg	3A															
②	シスプラチン	7mg/m ²	1時間		↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓		
	生理食塩液 100mL	1本															
③	フルオロウラシル	350mg/m ²	24時間		↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓		
	生理食塩液 500mL	1本															

【催吐性リスク】
高度リスク

【組織障害性】
アドリアシン: 壊死性
フルオロウラシル: 炎症性
シスプラチン: 炎症性

【注意事項】

(アドリアシン)

- 総投与量 $500\text{mg}/\text{m}^2$ を超えないように投与する。
- アルカリ性薬剤(5-FU など)と混合しない

(シスプラチン)

- 光に対して不安定なため、直射日光を避け、点滴時間が **6 時間**を超える場合は遮光して投与すること
- 腎毒性軽減のため、十分な量の補液が必要である。尿量や体重の変動に注意し、必要に応じ利尿剤を追加すること
- 先発品は「ランダ注射液」です。2018年12月に後発品切替え